

常民研収集歴史資料 DB

研究所が所蔵する古文書類は、原文書とマイクロフィルムによる複写文書があります。

原文書は、戦前期のアチックミュージアム時代に収集された祭魚洞文庫の一部（現在、多くは国文学研究資料館に収められています）、戦後まもなくの漁業制度改革のための調査にかかわる資料（漁業制度資料）、その後の寄贈・寄託・購入などにより収集した愛媛県二神司朗家文書・永長栄三郎家文書などがあります。

マイクロフィルム複写古文書は、研究所の神奈川大学への招致以来、所員を中心にマイクロフィルムで撮影することによって研究上で各地の古文書などを収集したものです。必ずしも公開を前提として収集された資料ではありませんが、複写後、原資料が災害や事故により滅失した資料（九十九里いわし博物館所蔵文書・気仙沼尾形家文書など）もあり、今となっては資料のバックアップという意味でも有用なものとなっております。奥能登の時国健太郎家文書・時国信弘家文書や京都大山崎の疋田家文書・離宮八幡宮文書などが主なものです。